

幼稚園・学校番号	1509413
施設名(園名等)	上ノ原幼稚園

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年少3歳児 ことり組、年中4歳児 うさぎ組
担任(教諭名): 年少・内藤 礼 年中・近藤 芳

1. 活動のテーマ

<テーマ> (タイトル)

栽培 ②「季節の花を育てよう (11月~3月)」

テーマの設定理由

日頃から花や葉、実、種、木など、園内でさまざまな植物の部位に興味を持ち、遊びに取り入れている子どもたちの姿が見られるため、本テーマを設定した。花の種子、野菜の苗、球根などから植物が生長していく様子は、どの学年の子どもにとっても自然の不思議さを感じられやすく、より好奇心を持って植物に触れようとするきっかけとなることをねらいとする。屋外のため日当たりがよく水やりがしやすい、日頃から園庭で遊んでいる際に子どもの目に触れやすい、など当園の園庭環境を生かして栽培活動を行う。

2. 活動スケジュール (活動の流れ)

- ① 球根を見せる
- ② みんなで植えてみる
- ③ 当番活動などを通して植物に水やりをする
- ④ みんなで生長を観察する
- ⑤ 花に名前を付けたたり、咲く色の花を予想したりする
- ⑥ 保育室に花の写真を掲示するなどして、子どもが生長を振り返ることができるようにする。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・活動のために準備した道具、環境の設定

- ・千日紅、わた花、インパチェンス、アネモネ、マイクロアスター等の栽培
- ・ヒヤシンス、チューリップ、クロッカス、フリージアの球根の栽培
- ・園庭やクラス内にプランター植えや水栽培をし、子どもたちが見やすい位置に置く。

・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり 等を記載

●チューリップ・フリージア

- ・自分たちで球根を土の中に植えた。「玉ねぎみたい」と言い、よく観察していた。
- ・お当番制で水やりをすることで、少しずつ生長していく様子を子どもたちみんな感じていた。「芽が出てきた」と子どもたち自身が変化に気づいていた。

●水栽培クロッカス

- ・保育室や園庭に置いてあることもあり、子どもたちの興味関心が強く示されていた。保育者が「名前（愛称）をつけてみる？」と問い掛けるとみんな前向きになっていた。チームごとに名前を考え、「ハートヒヤシちゃん」「にこちゃん」と決まった。何色の花が咲くか、ということ子どもたちみんなで予測した。
- ・少しずつ大きくなっているヒヤシンスに関心が高まる様子があった。同じ時期に2つの球根の水栽培を始めたのに、どうして大きさが違うのか、花が咲くタイミングが違うのか、ということ不思議に感じていた。保育者の「なんでだろうね？」という問い掛けに対して、子どもたちは「こっちの方が太陽に当たっているのかな？」「お水の量が違うから！」と、考えている様子があった。



球根植えの様子



水栽培の様子



わた花栽培



千日紅栽培



アネモネの水やり

4. 振り返り

<振り返りによって得た、教諭の気づき>

- ・子どもたちの目の届きやすい場所にプランターや水栽培を置いておくことによって、子どもたちがより関心をもって生長を感じていた。
- ・ヒヤシンスは同じ時期に2種水栽培を始めたが、生長の早さに違いがあった。そのことを子どもたち自身が気づき不思議に感じていた。自分たちで名前（愛称）を付けたり、色を予測したりすることによって、子どもたち自身が自分たちで育てているという興味関心が高まり、植物の生長による変化を感じ、不思議さ体感することができたのではないかと思った。